



蘇る水田七百町歩

鮫川堰三月に復活

本年の灌漑期から通水確実 総工費卅六萬余の成功

石城郡鮫川江筋の復活工事は、舟上戸地内釜戸川のサイホ
総工費三十六萬九千六百五十五圓、泉村瀧尻に於ける芳川橋
を以て、十一月年度から十二月年度
に引續く廿七万七千圓の工費
を以て来る三月末日までに完
成の豫定であるが同復活工事
は上遠野村大字瀧字橋坊の本
流から取水し下流小名濱町に
至る延長六里の間の難工は
取入口直ちに八十餘間のトン
ネルをセメントで捲いたもの
に續いて本流横断のサイホン
及び上遠野と渡邊の村界銅屋
トンネルの延長六百三十五間
の外掛樋十餘箇所並びに渡邊

両角部隊長銃後に深謝

支那事變に於ける至勤の両角
部隊長から銃後の平市に書沼
市長宛左記感謝状を寄せる
前署御免被下度候、我部隊
出動以來幾度か御懇電御懇
書を辱ふし感銘在候、其
都度公報を以て將兵一同に
傳へ奮起を促し御蔭を以て
微忠相抽で南京の戦闘に於
ては確に陣歿將兵の忠誠を
認め得し候事銃後各位御後
援の賜と奉深謝候、時局益
々面白く進展今後とも倍舊
の御後援賜願御願申上候、
遺族皆々様と出征將兵の留
守宅には此上とも一層の御

縣下四市の事務打合せ

新豫算編成で、
縣下四市の新豫算に關する打
合せ會は去る一日福島市役所
に開かれ縣から地方課長その
他地元福島市から市長、助役
財務課長庶務課長豫算主任他
の三市より助役及び庶務課長
豫算主任出席したが市は町村
と異なり歳入に伴はぬ豫算の
膨大で財源に當惑しつゝある
も通常經費に配付は認められ
ず結局制限外課税等の途に出

罹れば助からの 傳馬の隔離豫防

石城郡下に於ける昨十二年
の傳馬は總數十頭で前年度
の十三頭に比し三頭を減じた
此の好成绩は飼養各員の管理
がよい爲めと傳馬に對して公
德的な目ざめをもち自ら隔離
豫防に盡し傳馬を食ひ止めや
うと努むる結果で遂年減少の
傾向にあるを喜ばれてゐるが
馬匹に恐るべき同症は冬も
りから春に移る時期に發生が
多いので向後の飼養管理に一
層の努力を望まれてゐる傳馬
に罹れば馬匹は到底助かるべ

石城の舊正共販米 前回より五錢高

石城郡販賣聯合會去一日の依
米定期共販は舊正元日に差か
かつたので繰延べて昨三日行
はれた今回の出荷は百九十七
俵で案外に少量なると中央に

Table with 2 columns: 日別収入日額、日別支出日額. Lists various financial figures.

マニユスクリプトは寫
本、原稿、映畫の脚本
などの原稿、マニユフ
クチュアと云へば製
造すること、製作物の
ことでマニユフアクト
リーなり物をつくる製
作所、工場などの意だ

買氣強さを示し競争入札の結
果は平均五錢高の十二圓五十
錢で全部取引されたが昨年當
日の一俵最高十一圓二十六錢
最低十一圓七錢に比して平均
一圓卅五錢（一俵に付）の高値

石城産馬の總會 來る下旬に開く

石城産馬組合に於ける總會は
來る下旬開催の筈であるが明
年度豫算は十二年度の六千八
百八十圓より増額の概算であ
る其れは非常時下に於ける増
産計から從來費用一方に
使用されたものにも補付を行
ひ隔年産馬を累年産馬となす
外不受胎及び流産並びに生れ
たものを斃さぬ様衛生をよく
して出來たなら必ず育て、行
くべく最善の方法を講じ衛生
方面から技術的の指導に邁進
せんとする事業計から豫算
の増額は止むを得ないものと
されてゐる

縣土木技師の 事務分擔

縣土木課では道路、河川、橋
梁、港灣、災害その他に對す
る技師の事務分擔を積極決定
した其の受持を上げれば次の
如くである、

雪の若松から トラツク應援

平土木課管内に於ける積
雪から該課内に至る國道並
に泉驛より小名濱に及ぶ縣道
は鮫川から小名濱に建つ日本
水素工場の砂利運搬等で甚
だしい損傷を見てゐるので雪
の若松土木監督所が深雪の爲
めトラツクの使用をささないの
で此の程同所トラツクを汽
車で平に移し「車」の運轉手
を共に昨二日から右路線の修
理に活躍されてゐるが平土木
では大助かりだと喜んでゐる

架換測量 磐城橋の

小野新町平線の縣道平市地内
夏井川に架かる磐城橋の架け
換えは既報の如く夏井川の改
修に伴ひ位置變更されるが縣
土木課から昨二日奥山技師及
び沼野技師出張來る八日まで
設計上の測量中である

中小炭鑛の荷主 懇談會

水戸運輸事務所では常磐炭鑛
の出入、磐城兩炭鑛を除く炭
鑛業者荷主の懇談會を去る
一日午後一時から綴驛前發發
の淺野記念會館に於て開催水
は大家族制度です、そして
女性が働かないのは本當ら
しいです、支那街に行く
道路の兩側に屋台店が多い
こと、そして安い甘そうな
食物ばかり湯氣を上げて客
を持つてゐる、然し日本人
には食べる氣にはなれん、
それだから若し日本人が支
那人になつたら月に五、六
圓でも遊んで大きい顔をし
て生活が出来ると、私もルン
ペンになつたら支那に來る

Advertisement for '鬼文堂' (Oni Bunko) featuring various products like '玉泉堂の膏藥' and 'ライオンペン'.

農業方面

温室経営

燃料高、大規模に補助保温、十坪級には煉炭で乾燥し過ぎるので水をやらなければならなくなるのであるが此の場合注意すべきことは植物に直接水を與へず通路や棚の上に撒水することである、植物自身に水をやるのならば成るべく午前中に與へて午後は遅くとも三時頃には鉢が乾いてゐる程度に止めねばならぬ、但し連日戸外の温度が低くて濕氣が多いやうなときは水を餘りやり過ぎると花卉類は花に汚點が出来る恐れがある、次に晴天の日中には多少の温室の窓を開けて換氣することが必要であつて冬期は大抵北風が多いから成るべく南側の窓を開けて一日のうち一時間でも二時間でも換氣せねばならぬ尤も其の場合温室内の温度が急激に下らぬやう注意することが必要である、また冬の光線は弱いから栽培植物によつては充分光線に當てる必要があるが直射光線に當てると、悪いものもある、例へば洋蘭の一種シユンクブライウムなどは成るべく朝夕の極く弱い光線に當てたがよ、煉炭使用限度、要するに温室規模の大小に拘はらず冬の温室栽培に重要なことは室内の温度、濕氣、空氣の流通、日光の多少の四點で例へば水分にしても室内の温度より餘り低過ぎる水を與へることは避けねばならぬ。

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 用命は **三三三屋** 平市 田町

藤沼醫院
平市紺屋町 電五〇七

お醤油は ヤマフル
醤油味贈 たっぷり正宗 節約食料品
明治生命磐城代理店 **山崎與三郎**
電話 本営業部 二七〇番 本店 二七番

婦人科 院長 **木村寅次郎**
外科 醫學博士 **内木宗八**
藥局 藥劑師 **大岩俊雄**
平市新川町九一
入院隨意 **木村病院**
病室完備 電話一六四番

モートル 變壓器 販賣、修理
社會資合 所工鉄藤佐
町見月市平 (番二六三話電)

目科療診
一、齒科 一般
一、保存科 補綴科、鑲齒架工科
一、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔 外科
一、レントゲン科
平市田町 (松月堂向ひ) **中野齒科醫院**
院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠
電話五〇九番

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 **五十嵐雄二**
平市新川町「電話三六九番」

便利で 經濟な **日下家政婦會** の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です
會員(同志)の 加入を御誘ひ致します
派遣に際し 暇なとき 衣服を御貸し致します
◎ **日下家政婦會**
會長 日下すい子
電話七二三番
平市田町十八(西村屋横町)

帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
平町二丁目 事務取扱者 阿部助次郎
電話一六番

一般印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社
外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 **北川外科**
診察 (血液検査毎日)
イツデモ 醫學博士 北川 芳夫
入院デキマス 技師 三浦常保
平市新川町二七(電四六四)

レストラン **サロシ**
食 事。
喫 茶。
酒場を兼ねた。
町田平 二五三電

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし 皆様の御用向へ身元確かなる婦人を 派出致します
平市南町 電三〇七 **平看護婦會**
會長 濱野キヨ
經濟的な御便 宜御用命を 願ひ致します
御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番